

埋設管の問題は目に見えません! だから何かトラブルが起こってから しか対策できない!? なんてあきらめていませんか?

排水の流れが悪い!どこからか排水があふれてきた! 敷地内の地面が陥没してきた!など埋設管のトラブルで お困りのご相談やご依頼を数多くいただいております。 トラブルを未然に防ぐには、まず現状把握がとても大切です。

根幹の問題・不良を発見する 管内調査をご提案いたします! 裏面には導入したばかりのテレビカメラ車を紹介!



# 事前の管内調査による「予知保全」が現場にもたらすメリット

不具合や事故の最小化・防止、総合コスト縮減、ダウンタイムへのリスク回避、 計画的な修繕計画策定など先回りをした設備保全を行うことが可能です。 現状把握でトラブルを予知して、大きな事故が発生する前に解決いたします!

調査の範囲拡大や調査の質を高めるため、新 TV カメラ車を導入!

## 用途に合わせて自由設計が可能な TV カメラ車システム「ロビオン」



### 問題点が見つけやすく、 追跡しやすい展開カメラ搭載!

従来の自走式カメラは、オペレーター判断やカメラ操作に 差がでてしまうため、調査の質は技術者任せでした。

展開カメラを搭載した「ロビオン」は走行時に管内を自動 撮影することが可能になり、カメラの向きを変えるなどの 操作も一切不要。

正しい数値や経過を追いかけることができるので調査レベ ルや報告書の質も向上します。展開図により不良箇所も見 やすく分かりやすくなりました。



展開図



### ユニット組み換えにより、 状況に合わせた調査が可能!

高機能クローラ(ステアリング機能、リフト機能、バックカメラ、 傾斜センサ、発信機搭載)、用途に合わせたカメラヘッドの組み合 わせにより、あらゆる状況でも稼動できます。

### 適応管径Φ100~Φ2200 mm、 500m先まで調査可能に!

従来の自走式カメラは適応管径Φ150 ~Φ2000mm、「ロビオン」 は適用管径Φ100~2200mm まで対応可能となり、従来カメラ同様、

延長 500mまで調査で

きます。

適応管径が最小から最 大まで拡大したことに より、調査範囲の幅も 広がりました。



### 見えない不良箇所の位置を把握! GPS 機能搭載!

従来の自走式カメラは、不良箇所の位置は調査後にしか 確認はできませんでしたが、「ロビオン」は GPS 搭載なので、すぐに位置を把握できます

見えない問題を見えるようにする技術力でサポートいたします!

新テレビカメラ車「ロビオン」の性能を 動画で紹介しています。ご覧ください!

転載元:株式会社カンツール



もし不良が見つかった場合でも修繕工事承ります!開削、非開削工事とご要望に合わせてご提案いたします



埋設管のテレビカメラ調査によるお問い合わせはお気軽にご相談ください!



